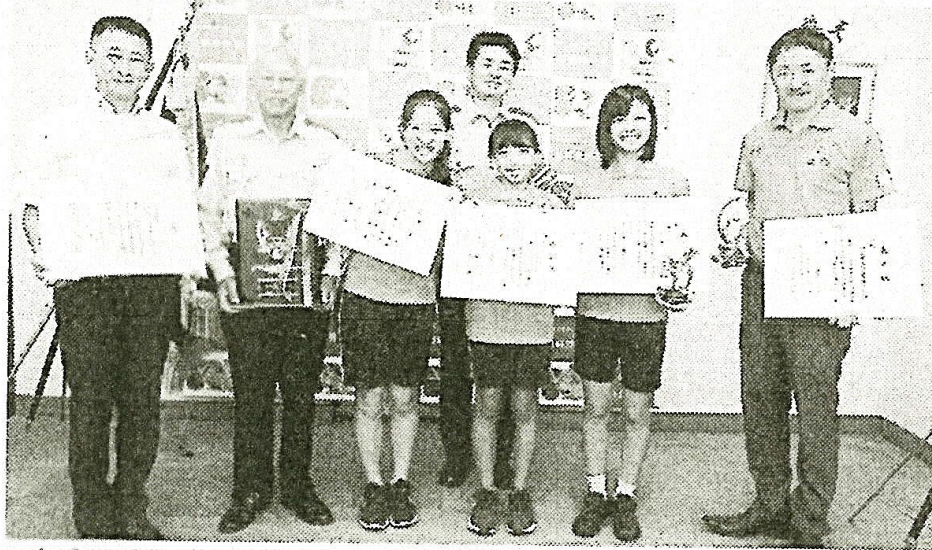


# 初の大舞台で悲喜



大会の結果を島崎浩志署長(後列中央)に報告する児童ら  
岡崎警察署で

## 岡崎市立 竜美丘小 交通安全こども自転車大会

岡崎市立竜美丘小学校自転車サークルの児童が、このほど東京都内で開かれた自転車で安全に走るための知識や技術を競う大会「第55回交通安全こども自転車全国大会」に出場した。市内の学校としては初めて全国の代表44チームが集まる大舞台に挑戦した。

(酒井希実)

交通マナーなどの知識を問う学科テストと、自転車で信号や踏切のある道路を安全に通行できるか、凹凸のある道や曲がりくねった道を進む技術があるかを問う2つの実技テストの合計点数を競った。同校からはいずれも1年生の千葉ゆり菜

さん、栗田友惟香さん、田中陽和さん、横辻遥希さんが参加。7月に名古屋市港区で開かれた県大会では16チーム64人が出場した中、4人全員が個人で10位以内に入り、岡崎市内の学校として初の団体優勝を決めて全国に駒を進めた。

全国大会では18位。

「得意なことではきた」と充実感を見せた一方で、「練習ではできなかったことがあった」「緊張しなければもっと高得点だったかな」と悔しさをにじませるコメントもあった。

児童は教員や学区の交通安全指導員らの指導の下、3年生の3月から朝の授業前に練習に励んできた。顧問の太田幹彦教諭は「各自で目標を持って真面目に取り組んできた。練習ではほとんどミスなく、上手になった。よく頑張った」とねぎらった。